

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>・学習指導要領の趣旨や生徒の実状に応じつつ、配慮を必要とする状況にも対応できるカリキュラム・マネジメントに取り組む。</p> <p>・新しい時代に必要となる資質・能力の育成をめざし、授業改善と探究活動の充実を図る。</p>	<p>①教育課程を踏まえた指導計画に基づく授業づくりとその実践を図る。</p> <p>②学習活動に探究のプロセスを取り入れた授業作りを促進する。</p>	<p>①学校目標の達成に向けた教育課程や授業研究を教科会でも行い、議論を深める。</p> <p>②定期的な授業改善研修を実施し、学習活動に探究のプロセスを取り入れた授業作りと生徒間の学び合いを促進する。</p>	<p>①各教科で教科指導及び評価の課題を整理し、授業改善につなげることができたか。</p> <p>①公開研究授業に組織的に取り組めたか。</p> <p>②生徒による授業評価において、授業のあり方について好意的な評価が9割5分を超えたか。</p> <p>②「主体的で対話的な深い学び」に関する事例及び校内の取組事例を共有することができたか。（会議等を3回以上）</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>・教育活動全般をととして生徒の主体性や人間性を高め、社会に貢献できる人材を育成する。</p> <p>・生徒理解を深め、個に応じた柔軟な支援を行える体制を組織的に整備し充実させる。</p>	<p>①規範意識や身だしなみについての意識の醸成を図る。</p> <p>②SC、SSWを効果的に活用し、生徒の抱える問題の早期発見に努める。</p> <p>③学校行事や部活動等を活性化させることにより、生徒の主体性や協調性の向上を図る。</p> <p>④持続可能な生徒会を実現する。</p>	<p>①モラル・マナー教育の充実と丁寧な指導により基本的な生活習慣を確立させ、規範意識を高めるために頭髪・遅刻・服装指導をする。登校時の安全確保のため、警察とも連携する。</p> <p>②教育相談体制を確立し、個別支援を充実させるために生徒へ教育相談の情報を分かりやすく発信し、SC、SSWと連携を深める。生徒情報交換会を実施する。</p> <p>③実行委員、生徒会本部、部長会の連携を深め、連携して行事計画及び運営を行う。</p> <p>④生徒会本部、行事、部活動において、次代へと継続できる仕組みを構築する。</p>	<p>①校則や社会規範に対する生徒の理解を深めた上で、時間厳守、挨拶励行、服装頭髪マナーの向上等を図り、指導対象者数を前期と比べて後期に減らすことができたか。</p> <p>②教育相談コーディネーターやSC、SSWとの会議を月1回以上開催できたか。全職員対象の生徒情報交換会を2回以上開催できたか。</p> <p>③実行委員、生徒会本部、部長会の生徒にアンケートを実施し、活動を通して、主体性や協働性が向上したという生徒が8割以上いたか。</p> <p>④教員の過度な介入なく、次世代への継承ができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>・校内での指導・支援と学校外の教育力を系統的に展開することにより、生徒一人ひとりが自己の適性を正しく理解しながらキャリア意識を高め、希望する進路を実現できる体制を整える。</p>	<p>①講演会や外部模試の年度別比較から自己を振り返ることで将来の目標実現に向けての活動につなげる。</p> <p>②インターンシップ等の参加人数を増やす。</p> <p>③探究的な学びをすることでキャリア意識を高め進路実現をする。</p>	<p>①外部模試や各種講演会、説明会など学校外の教育力を活用し、現状把握をするとともに目標設定をさせる。</p> <p>②年次集会やLHRで呼びかける。</p> <p>③「総合的な探究の時間」を通して学びのスタイルを身に付けさせるとともに、興味・関心をキャリア選択につなげさせる。</p>	<p>①学習状況調査で学習時間が増加したか。卒業生へのアンケートや受験結果から好意的な評価が8割以上あるか。</p> <p>②参加人数が20名を超えたか。（昨年は15名）</p> <p>③生徒による授業評価で好意的な評価が8割以上いたか。</p>
4	地域等との協働	<p>・地域や保護者等との連携・協働を図り、信頼され開かれた学校づくりを推進する中で、生徒の主体性や社会性を育む。</p>	<p>①地域貢献活動等ボランティアの推進を図り、生徒の社会性を育む。</p>	<p>①年次集会やLHRでの呼びかけや委員会等の活動を通して、地域貢献活動等ボランティアへの積極的な参加を促す。</p>	<p>①ボランティアへの参加者が20名を超えたか。（昨年は14名）</p> <p>①地域貢献活動のアンケートで、活動を通して地域の一員としての意識が高まったという生徒が8割以上いたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>・地域や保護者をはじめ社会の教育ニーズに対応しながら、安心して学ぶことのできる教育環境を整備し、学校の取組に関する情報を積極的に発信する。</p> <p>・職員の教育公務員としての自覚を高めつつ、ワークライフバランスを推進しながら協働性を高め、業務の効率化を図る。</p>	<p>①校舎の老朽部分や校内の危険箇所を改善し、安全な教育環境をつくる。</p> <p>②HPの充実を図り、学校の取組が見えるようにする。</p> <p>③非常勤を含む全職員で事故防止、及び不祥事防止に努める。</p> <p>④働き方改革を推進する。</p>	<p>①衛生委員会による危険箇所の点検機会を利用し、速やかに対応できる体制をつくる。</p> <p>②地域貢献活動等を含む教育活動を積極的にホームページに掲載する。</p> <p>③不祥事ゼロプログラムを全職員で確認し、毎職員会議前に事故・不祥事防止研修会を実施する。</p> <p>③ヒヤリハット事例を全職員で共有する。</p> <p>④職員間の協働性を高め、業務の効率化を図り、時間外勤務を減らす。</p>	<p>①点検を実施し、状況を把握したうえで会議等にて共有できたか。</p> <p>②清陵ナビで月2回以上の情報発信ができたか。</p> <p>②HPを編集できる教員を2名以上増やせたか。</p> <p>③毎職員会議前に研修会を実施し、情報共有を図れたか。</p> <p>③職員同士での事故防止意識を高められたか。</p> <p>④昨年度に比べて、月々の時間外勤務を減らすことができたか。</p>